

措置実施状況報告書

令和 5 年度分

会 社 名	甲信建設株式会社
代 表 者 名	三 森 一
提出年月日	令和 6 年 12 月 13 日

担当者連絡先

課・係	甲信建設株式会社 本社
職・氏名	
電話番号	0553-44-0164
メールアドレス	

◎提出〆切

※分割払い期間が 5 年の場合

年度	取組の期間	報告〆切
令和3年度分	令和3年7月29日～令和4年3月31日	令和4年12月31日
令和4年度分	令和4年4月1日～令和5年3月31日	令和5年12月31日
令和5年度分	令和5年4月1日～令和6年3月31日	令和6年12月31日
令和6年度分	令和6年4月1日～令和7年3月31日	令和7年12月31日
令和7年度分	令和7年4月1日～令和8年3月31日	令和8年12月31日
令和8年度分	令和8年4月1日～最終支払日※	令和8年12月31日

※ただし最終支払日が7月29日以前の場合は7月29日

1 談合事件を踏まえた、会社の経営理念

今回、独占禁止法に対する認識の甘さから、この様な談合事件を起こし、県民の皆様にご迷惑をお掛けしてしまった事、また、建設業に対する信頼を失い、不信感を生んでしまった事を反省し、深くお詫び申し上げます。

この事を踏まえて、弊社は、あらためて以下を経営理念として確認しました。

1. 法令遵守を最優先と位置づけ、企業倫理や社会規範を尊重し良識ある企業としての行動を常に心がけてまいります。
2. いかなる状況であっても、公正かつ透明な競争を行い、同業者間において独占禁止法に違反するような行動は行いません。
3. 地域貢献及び地域とのコミュニケーションを大切にし、所有する資源を生かし、小学校の周辺整備、災害時における迅速な対応と、その為の訓練への参加など積極的に取り組んでまいります。
4. 多様化する社会のニーズに応えるべく、企業としての利益と社会の利益の調和を図り、「良い企業」として役割を積極的に果たしてまいります。
5. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会勢力と和一切関係を持たず、取引や金銭の要求に対しては全社一体となり、拒否します。また、いかなる状況にあっても、反社会勢力を利用したり、利益の供与をしたり致しません。
6. 企業活動で工事の施工に当たり、常に安全第一の意識を持ち、関係法規を十分に理解し、遵守するとともに安全衛生管理の徹底を図ってまいります。
7. 従業員の個性を尊重し、安全で衛生的な職場環境の整備に取り組み、従業員が持てる力を発揮できる企業環境の確保に努めます。
8. 企業活動の中で、環境保護の重要性を十分に認識し、環境保護活動にも取り組んでまいります。
9. 福利厚生の充実及び、有給休暇の100%消化を目指し、従業員の雇用の維持、確保に努めてまいります。
10. 山梨県建設業協会行動憲章を社内に周知するとともに、それを実行してまいります。

2 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律に二度と違反することがないように自発的に講じた再発防止策の報告

(1) 取組期間 令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

(2) 取組の趣旨

今回の独占禁止法に違反するという行為を反省し、法律を十分に理解し、今後法律違反を犯さない様に襟を正して関連する研修会、講習会に積極的に参加をしていく。

(3) 活動の概要

1. 関連する講習会、研修会への参加。
 - ・塩山建設業協会が実施した法令遵守に関する講習会
 - ・山梨県建設業協会が実施した法令遵守に関する講習会

(4) 主な活動の詳細

①法令遵守に関する講習会

実施日 令和 5 年 8 月 25 日

場 所 一般社団法人 塩山建設業協会 2 階会議室

参加者

内 容 1.建設業法の規定に基づく処分

(処分の種類と内容)

2.山梨県の状況

- ・代表者が刑事罰を受けた場合や喧嘩に巻き込まれて被害者になっても何かしらの処分を受けることがある(指示、営業停止、取消)など知った。

② 法令遵守に関する講習会(Web研修)

実施日 令和5年11月16日

場 所 山梨県地場産業センター3階大ホール

参加者 [REDACTED]

内 容 ①建設業の法令遵守等について

②建設業のコンプライアンス

・談合や業法の違反行為に対する制裁の例を目の当たりにして経営に携わる者としてコンプライアンスの重要性を痛感した。

(5) 経費の報告

分類	金額(円)	備考
① 人件費	3,900	1 名 × 2,100 円 × 1 時間 燃料・車輦代 1,800 円
② 人件費	26,300	1 名 × 2,100 円 × 3 時間 燃料・車輦代 20,000 円
合計	30,200	

3 峡東地域において自発的に講じた防災・減災への対策に資する取り組みの報告

(1) 取組期間 令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

(2) 取組の趣旨

地域で災害が発生した場合に対応できる体制の確立及び、訓練への参加。
災害が発生した場合、防災備蓄倉庫へ仮設材を持ちに行けなくなる可能性がある為、自社で鋼材を保有、管理していれば早い対応が出来る。また、重機、車輛所有地も同様。

(3) 活動の概要

1. 災害発生時の対応の訓練参加。
 - ・災害発生時の防災訓練として必要資材の運搬等役割分担、事前準備、実施
 2. 災害発生時に必要と思われる保有する仮設材の維持管理。
 - ・仮設材の維持・保管
 3. 保有する重機車輛の点検維持
 - ・車検、年次自主検査、不具合の修理、冬用タイヤへの交換(外注)
- 、

(4) 主な活動の詳細

① 地震啓開訓練

実施日 令和 5 年 9 月 22 日(打合せ)、10 月 10 日(準備)、12 日(実施)
場 所 鴨居寺橋左岸上流重川河川公園
参加者 XXXXXXXXXX
内 容 横転した車両からの被災者救出
倒壊した建物からの被災者救出
住民の避難誘導

② 仮設材保管維持

実施日 令和5年8月17日、18日

場 所 自社資材置き場

参加者

内 容 置き場の除草、資材の維持・保管

1 置き場の除草作業

→資材の保管状態維持と、緊急時搬出作業が容易にできるため。

2 H鋼 300*300*6000 12 本

→維持・保管費は1kgあたり125円であるが、長さ1000mmあたり93kgであるため維持・保管費の計算は、 $93\text{ kg} \times 6(6000\text{ mm}) \times 125\text{ 円} \times 12\text{ 本} = 837,000\text{ 円}$

3 H鋼 300*300*2000 10 本

→維持・保管費は1kgあたり125円であるが、長さ1000mmあたり93kgであるため維持・保管費の計算は、 $93\text{ kg} \times 2(2000\text{ mm}) \times 125\text{ 円} \times 10\text{ 本} = 232,500\text{ 円}$

4 H鋼 200*200*4000 26 本

→維持・保管費は1kgあたり125円であるが、長さ1000mmあたり49.9kgであるため維持・保管費の計算は、 $49.9\text{ kg} \times 4(4000\text{ mm}) \times 125\text{ 円} \times 26\text{ 本} = 648,700\text{ 円}$

5 覆工板 1000*2000=2 m² 45 枚

→維持・保管費は1m²あたり840円であるが、1枚あたり2m²あるため維持・保管費の計算は、 $2\text{ m}^2 \times 840\text{ 円} \times 45\text{ 枚} = 75,600\text{ 円}$

③ 重機・車輛の点検維持

実施日 令和5年4月1日～令和6年3月31日

場 所 整備工場

参加者 外部委託

内 容 3tダンプトラック、4tダンプトラック

ホイローダー(910F)1.3 m³、

バックホウ(314DCR)0.45 m³

災害発生時パトロール車輛、及び機材

(5) 経費の報告

分類	金額(円)	備考
① 人件費他	67,300	1人 16,800*2.5日 1人 16,400*1日 4tダンプ 1日*8,900
② 仮設材維持費	38,800	1人 16,400*2日 草刈り機 3,000*2日
③ 仮設材維持費	1,793,800	H300*300*6000 12本 →837,000円 H300*300*2000 10本 →232,500円 H200*200*4000 26本 →648,700円 覆工板 1000*2000 45枚 →75,600円
③ 重機メーカー工場への重機回送費(往復)	100,000	重機回送費 901F 2回×25,000円 314DCR 2回×25,000円
③車検、修理費	251,782	分
③車検、修理費	348,034	分
③年次点検、修理費	78,661	901F 年次点検消耗品交換
③年次点検、修理費	109,164	314DCR 年次点検、部品消耗品交換
③修理費	14,300	305CR修理費
③修理費	213,180	
合計	3,015,021	

4 雇用の維持、確保、事業の高度化、効率化への積極投資の取り組みの報告

(1) 取組期間 令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

(2) 取組の趣旨

雇用維持および新規の従業員採用を図り、企業を継続・維持していく為に何をすべきか、何が出来るのか検討し、その為の取り組みを実施していく。

(3) 活動の概要

1. 技術者の負担軽減の為、ソフトウェアの導入及び測量機器の維持。
 - ・容量の大きい PC の維持
 - ・写真管理ソフト(電子小黒板)、及びこのソフトで使用するスマートフォンの維持
2. 企業のイメージアップを図る為、地域貢献及び、地域とのコミュニケーション
 - ・市内小学校の周辺整備
3. 監督署提出書類手続き報酬
- 4 配置技術者負担軽減の為、補助技術者の配置
 - ・工事に配置した技術者の負担軽減の為、補助として 2 級施工管理技術者の配置と 1 級施工管理技士の追加配置

(4) 主な活動の詳細

①雇用の維持

実施日 令和5年4月～令和6年3月
場 所 自社
参加者 [REDACTED]
内 容 ノートPC、写真管理ソフトで使用するスマートフォンの維持
自動追尾型測量機(トプコン LN150)維持

②地域貢献及び地域とのコミュニケーション

実施日 令和5年8月24日、31日(学校農園及び周辺整備)、
場 所 ①甲州市内工事現場近隣公園整備、②甲州市立菱山小学校
参加者 [REDACTED]
内 容 ①市発注下水道工事現場に隣接する公園の整備。
②学校農園にグラウンドの枝打ちした枝を入れる穴の掘削及び、トラクターによる農園の開墾。
グラウンド凹凸の不陸整正

③ 社会保険労務士報酬

(社会保険に関する手続きを外注し、従業員の負担軽減を図る)

実施日 令和6年3月18日
場 所 自社
参加者 [REDACTED]
内 容 三六協定、1年単位の変形労働時間制手続報酬

④ 配置技術者の負担軽減

（負担の重い現場につき、その負担を軽減するための 2 級施工管理技術者の配置と 1 級施工管理技士の追加配置）

実施日 令和5年 12 月 1 日～令和6年 3 月 31 日

場 所 菱山地区 農道 20 号改良舗装工事その 1（明許）

参加者 補助技術者（）

追加技術者（）

内 容 測量業務、丁張設置作業等の現場管理業務の補助
地権者及び関係者対応

(5) 経費の報告

分類	金額(円)	備考
① 雇用維持費	950,664	ノート PC2 台 ¥66,000 電子小黑板+スマートフォン+ 保守料(12 カ月) ¥426,456 LN150 維持費+保守料 (12 カ月) ¥458,208
② 地域貢献	230,500	1 人 16,400*1 日 草刈り機 3,000*1 日 ベンチ防腐剤塗装及び設置 1 人 16,400*5 日 ¥82,000 バックホウ 0.10 m³ ¥20,000 トラクター ¥30,000 3tダンプトラック ¥13,500 人件費 4 人 ¥65,600
③ 社会保険労務士報酬	14,969	労基署提出書類手続報酬
④ 従業員の負担軽減 ⑤ 及び労務環境維持	6,369,000	¥369,000×6 カ月(補助) ¥595,000×6 カ月(追加) ¥450,000×1.3 カ月(追加)
合計	7,565,133	

5 報告した経費の累計

年度	2の経費	3の経費	4の経費	経費合計(円)
令和3年度	448,000	3,726,541	6,992,776	11,167,317
令和4年度	23,000	3,403,204	6,788,464	10,214,668
令和5年度	30,200	3,015,021	7,565,133	10,610,354
令和6年度				
令和7年度				
令和8年度				
合計				31,992,339

○公正入札違約金額等

(円)

公正入札違約金額 (1)	92,604,540
調停条項で定めた令和3年内支払い額 (2)	5,506,040
調停条項で定めた分割支払い分総額 (3)	23,151,135
(1)と(2)及び(3)の差額 (4)	63,947,365
再発防止・地域貢献に要した経費の累計 (5)	31,992,339
(4)と(5)の差額	△31,955,026